



議員会部
議の新支
会刷
議刷
所属
玉所
埼無鴻

な か や し き 慎 一

駅チャレ通信は、タイムリーな県議会の情報を発信していきます!!

第1号は、私が12月定例会派を代表し登壇した一般質問にズームして、紹介します。



駅チャレ通信

な か や し き 慎 一 チャレンジ報告 討議資料

質 問 項 目

1. 国民保護の推進について
2. 教育問題について
 - (1) 近現代史教育の充実について
 - (2) 教員が教育らしくあるための環境づくりについて
 - (3) いじめ対策について
3. 地球温暖化への取組について
4. 成年後見制度の拡充について
5. 県内観光の振興策について
6. 地元問題について
 - (1) 川幅日本一の利活用について
 - ア コウノトリの野生復帰について
 - イ 「ラジコン飛行機のメッカ」づくりについて
 - (2) 県道鴻巣羽生線の整備について



国民保護の推進について

11月27日に、今年度の実動訓練が鴻巣北本両市を舞台に実施されました。県と両市共催のこの訓練は、市域を超えて初めて展開された訓練でした。私も鴻巣市役所から北本市体育センターへの4.3kmの徒歩での避難訓練にも参加しましたが、そのとき一番気になったのが、参加者の皆さんが国民保護制度について、ほとんどご存じなかった事です。私は、一朝事が発生してしまった時には大混乱に陥ってしまうのではないかとこの不安を覚えました。今後、国民保護についての理解をどう県民の中に定着させていくのか。

A 上田知事答弁要旨

こうした訓練を毎年繰り返し実施し多くの県民に体験してもらうことが極めて大事。今後もさまざまな想定の下、緊迫感を持った実働訓練を実施していきたい。しかし今年度単独で国民保護の訓練を実施する市町村はわずか2市。県は毎年一つの市を中心に行っているという現状でなかなか浸透しない。そこで県は来年2月に国、上尾市と共催で国民保護図上訓練を実施する。その成果を踏まえ、全市町村の危機管理担当部局を対象に国民保護訓練の研修会を開催し、市町村職員との危機管理意識の向上を図るとともに訓練実施の要請や支援を行っていききたい。

な か や し き の 思 い !

北朝鮮による、韓国ヨンピョン島砲撃事件、尖閣諸島海域での巡視船衝突事件、不穏な状況が続く東アジア。平和ボケから脱し「自助、共助、公助」が最高に機能するよう、意識を持った訓練が必要だ。



近現代史教育の充実について

本県の県立高等学校の社会科に係る履修状況を見ると、世界史に関しては、A・Bのいずれかを選ぶ必修科目となっていますが、日本史に関しては、「地理A・B」「日本史A・B」を合わせた4科目の中から履修する形式をとっていて、「日本史」の履修状況は78.6%にとどまり、残りの21.4%は日本史を学んでいない、という結果です。国や郷土を愛するためには、領土や領海に対する理解の深さもとても重要だと考えます。特に昨今の緊迫した周辺状況を考えると、領土・領海を含めた近現代史を正しく学ぶことの重要性は、より明らかになったと言えるでしょう。

そこで、自国の歴史、特に領土・領海などの理解を含めた、近現代史を正しく学ぶことの重要性について、知事のご意見を伺います。

A 上田知事答弁要旨

日本の近現代史を正しく学習することは、国際社会の平和と発展に寄与する日本人を育成するものであり、極めて大切なことだと思っております。将来的には、本来、日本史といえども世界の歴史の中でどのような日本の役割があったのかとか、世界との関わりがどのようなだったのかということも含めて、世界の中の日本史というふうな形で、世界も含めた形の中の歴史、そういうものを通史として学ぶような体制づくりをすれば、日本史がいいのか、世界史がいいのかという議論ではなくて、いずれも大事だという形の中での整理が出てくるのではないかとこのように考えております。

な か や し き の 思 い !

自国の歴史や文化に誇りを持っていないようでは、国際社会では通用しない。大学受験の為だけの学習ではなく、「日本人としての自覚と誇り」を持てるような、教育を実現しなければならぬ。



いじめ対策について

いじめを苦にした自殺が続発した平成18年、その取り組みへの徹底を図ってから4年を経過しています。本県では、公立学校のいじめの認知件数は3年連続で減少したのですが、文部科学省通知を受け発せられた9月22日付の教育長

通知には、「いじめを認知した学校と認知していない学校との間で、いじめの実態把握のための取り組みに差がみられ、学校がいじめを認知していないケースがあるのではないかと懸念される。」とありました。まさにこの点が問題であり、今、いじめが起こっていないから、実態把握は必要ない、というような考え方が一部にあるとすれば、いじめの根絶など出来ようはずもありません。子どもの発信するSOSを過小評価せずしっかりと受信する。それ以外にこの問題への対処の方法はありません。

そこで、本県においては、平成18年以降このいじめの問題にどう向き合い、どう対処してきたのか。

A 教育長 答弁要旨

本県では平成19年度に、いじめ対応ハンドブック「アイズ」を全ての公立学校の教員に配布し、保護者には「いじめ発見チェックシート」を配布するなど、継続して早期発見・早期対応に努めてまいりました。

平成21年度には、本県独自の道徳教材「彩の国の道徳」を作成し、児童生徒に「悪いことはしてはいけません。いけないものはいけないのです。」と教育しております。また群馬県などの痛ましい事件を受けまして、11月には各学校におけるいじめの実態把握の徹底を指示いたしました。

なかやしきの思い！
3年連続で過去最多を更新し続けている、県内公立学校の児童・生徒による暴力行為。この状況では、いじめの認知件



数は減少していても、安心など出来る訳もない。教員を中心に、私たち大人が、もつと真剣に取り組まなければだめだ。

Q 成年後見制度の拡充について

高齢者や認知症を患っている人や障害をお持ちで、判断能力の不十分な人の権利擁護の手立てとして、成年後見制度があります。近い将来急速な高齢化の進む本県においても、成年後見人の養成は、重要欠くべからざる課題だと考えます。そこで、県民の福祉向上を担う福祉部として、成年後見制度の拡充の必要性をどう考えるか。

A 福祉部長 答弁要旨

本県の成年後見の申立件数は、平成16年の834件から、平成21年には1,299件と5年間で約1.5倍になっております。特に今後、認知症の高齢者や一人暮らしの高齢者の急増が見込まれます。こうしたこと



私が質問をした「成年後見制度の拡充について」が埼玉新聞1面に取り上げられました！

A 県土整備部長 答弁要旨

この交差点の交通渋滞を解消するためには、県道と市道を同時期に、一体的に整備することが効果的

から、高齢者や障害者の財産や生活を守るためには、預貯金や不動産などの財産管理や日常生活での様々な契約を本人に代わって行う、成年後見制度の利用の拡充が大変重要と考えております。そこで、家庭裁判所、市町村、社会福祉協議会などの関係機関による推進協議会を早急に立ち上げ、活動の仕組みづくりなどを検討して行きます。

なかやしきの思い！
近い将来、一気に超高齢化社会に突入する本県。まだまだ、それを支える社会資本の整備は遅れている。誰もが通る高齢化への道、安心して暮らせる社会作りを、何としても急がなければならない。

Q 県道鴻巣羽生線の整備について

国道17号宮地交差点においては、県道部分の右折帯の未整備により、これまでにもまして慢性的な交通渋滞が発生しております。また、交差点を境に接続する市道A1

議会の刷新
支部
中屋敷 事務所

〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

http://nakayashiki.net
challenge@nakayashiki.net

県議会へのご意見、
ご要望承っております！

なかやしき 値一 プロフィール

- 昭和34年 8月 1日 鴻巣市生まれ
- 鴻巣市立東小学校・鴻巣中学校卒
- 城西大学付属川越高等学校卒
- 東京経済大学経営学部卒
- 1999年度(社)鴻巣青年会議所 理事長
- 平成14・15年度鴻巣東小学校PTA会長
- 平成17年度鴻巣中学校 PTA会長
- 平成17・18年度鴻巣PTA連合会 会長
- 雷電町町内会 副会長
- 鴻巣市水泳連盟 会長
- 鴻巣市体育協会 副会長
- 鴻巣市硬式テニス協会 副会長

なかやしきの思い！
17号の東側県道部分にも、西側市道部分にも、右折帯の無い宮地交差点。道路などのインフラ整備は、一体感を持った展開が望ましい。今回の答弁は、市・県の足並みがそろっておりありがたい判断だ。

この市道には、旧中山道から宮地交差点までの拡幅計画がございますので、この計画と合わせた交差点の整備が必要であると考えております。このため、今後は市と密接に連携を図りながら、関係機関と交差点の構造などの協議を進めてまいります。